



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋
コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当執行役 CFO (氏名) 藤本 昌信

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	28,149	23.7	588		550		1,056	
2023年3月期第3四半期	22,756	25.8	11		41		502	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 992百万円 (%) 2023年3月期第3四半期 498百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	46.20	
2023年3月期第3四半期	21.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	39,584	8,831	22.0	379.88
2023年3月期	38,828	7,838	19.8	335.94

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,689百万円 2023年3月期 7,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の配当予想につきましては未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,466	22.0	28		51		422		18.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社壺番亭本部

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	22,910,275 株	2023年3月期	22,910,275 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	36,250 株	2023年3月期	36,144 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	22,874,064 株	2023年3月期3Q	22,874,131 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと移行したこと等に伴い、経済活動の正常化を背景に人流及びインバウンド需要も増加し、景気は緩やかに回復してきております。しかしながら、ロシア・ウクライナや中東情勢に伴う地政学的リスクに起因するエネルギーや原材料価格など物価の上昇に加え、世界的な金融引き締め等による海外景気の下振れリスク等もあり、先行きは依然不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は収まったものの、原材料、光熱費等様々なコストの上昇、人手不足による人件費の増加が継続しており、事業を取り巻く経営環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループはグループ一丸となって事業収益のV字回復を果たすため、戦略構築と実行を徹底し、企業風土の変革を希求し続けております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高281億49百万円（前年同期比53億93百万円増）、営業利益5億88百万円（前年同期比5億77百万円増）、経常利益5億50百万円（前年同期は経常損失41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億56百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億2百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、EBITDA（償却前利益）とROI（投資回収率）を重視し、利益が見込める新規出店に投資を集中する方針のもと、7月及び8月には住宅街に大型の路面店、12月には関西国際空港の国際線出発エリアに新業態のCafé&Barを出店致しました。既存店舗においては人流の回復やインバウンド需要の再開により売上は順調に回復しております。また、店長のKPI評価や労働生産性プロジェクトを導入し省人化等の業務改善も推進しております。

その結果、新店はそば部門の「おらが蕎麦」3店舗、洋食部門の「和 SAKURA」、アジア部門その他の「シジャン」6店舗、「solege」2店舗、「ゆきむら亭」2店舗の合計14店舗であります。業態変更は7店舗、退店は12店舗であります。この結果、当第3四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、35都道府県に405店舗（フランチャイズ店舗95店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は174億4百万円（前年同期比20.0%増）、セグメント利益5億22百万円（前年同期は51百万円の損失）となりました。

(機内食事業)

機内食事業においては、中国便等の国際線の航空需要が回復途上のため搭載食数の回復が遅れていることや賃借料等のコスト増により減益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は24億95百万円（前年同期比156.6%増）、セグメント損失3億73百万円（前年同期は2億6百万円の損失）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

業務用冷凍食品製造事業においては、季節品のおせちの製造が減少したものの、冷凍弁当の製造が大幅に増加したことから増収となりましたが、人件費等のコスト増により減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は55億4百万円（前年同期比20.7%増）、セグメント利益4億43百万円（前年同期は4億67百万円の利益）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みであります但し修繕費等のコスト増により減収減益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は5億17百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益2億21百万円（前年同期は2億25百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道においては、沿線地域でのイベントの開催等に取り組むことで旅客数が増加し、増収増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は3億17百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント損失27百万円（前年同期は35百万円の損失）となりました。

(その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加したことから増収増益となりました。日本食糧卸売で展開しております米穀卸売事業は、販売数量の減少や材料費の増加等により減収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は19億11百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント損失59百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は176億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億6百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金2億45百万円の減少、売掛金19億86百万円の増加、未収入金2億3百万円の減少によるものであります。固定資産は219億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億50百万円減少いたしました。これは主に土地4億83百万円及び投資有価証券3億3百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、395億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億55百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は95億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億59百万円増加いたしました。これは主に短期借入金14億円の増加、1年内返済予定の長期借入金3億2百万円の減少及び未払法人税等2億66百万円の増加によるものであります。固定負債は211億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億96百万円減少いたしました。これは主に長期借入金19億28百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、307億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億36百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は88億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億92百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益10億56百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は22.0%（前連結会計年度末は19.8%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月7日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,583,388	12,337,488
預け金	481,206	553,178
売掛金	1,488,036	3,474,446
商品及び製品	456,277	437,521
原材料及び貯蔵品	319,143	412,234
短期貸付金	179	-
未収入金	288,577	85,247
未収消費税等	21,788	55,400
その他	163,423	254,049
貸倒引当金	△1,261	△2,258
流動資産合計	15,800,758	17,607,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,341,330	28,336,110
減価償却累計額	△21,063,465	△21,332,105
建物及び構築物(純額)	7,277,864	7,004,004
機械装置及び運搬具	3,296,267	3,303,535
減価償却累計額	△2,439,428	△2,529,238
機械装置及び運搬具(純額)	856,839	774,297
工具、器具及び備品	1,985,256	2,093,942
減価償却累計額	△1,576,591	△1,578,195
工具、器具及び備品(純額)	408,665	515,746
土地	8,210,084	7,726,211
建設仮勘定	74,587	33,850
有形固定資産合計	16,828,041	16,054,111
無形固定資産		
のれん	262,738	213,659
その他	60,413	139,483
無形固定資産合計	323,152	353,143
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223,293	919,981
長期貸付金	116,607	155,768
差入保証金	4,402,066	4,356,483
繰延税金資産	32,079	25,936
その他	120,982	129,849
貸倒引当金	△18,438	△18,438
投資その他の資産合計	5,876,589	5,569,581
固定資産合計	23,027,784	21,976,835
資産合計	38,828,543	39,584,144

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,137,694	1,485,171
短期借入金	500,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	3,372,602	3,069,840
未払金	535,610	394,989
未払費用	1,237,000	1,409,699
未払法人税等	27,035	293,096
未払消費税等	384,508	400,530
賞与引当金	134,731	49,128
資産除去債務	88,831	101,101
その他	391,370	465,664
流動負債合計	7,809,385	9,569,222
固定負債		
長期借入金	19,522,999	17,594,250
長期未払金	8,056	8,056
繰延税金負債	1,464,135	1,426,103
退職給付に係る負債	120,833	87,282
資産除去債務	1,285,808	1,306,773
その他	778,347	761,110
固定負債合計	23,180,180	21,183,575
負債合計	30,989,565	30,752,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	12,534,726	8,345,313
利益剰余金	△5,103,525	142,570
自己株式	△35,381	△35,493
株主資本合計	7,495,820	8,552,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,095	126,824
為替換算調整勘定	3,963	10,419
退職給付に係る調整累計額	△530	△163
その他の包括利益累計額合計	188,527	137,080
非支配株主持分	154,628	141,874
純資産合計	7,838,977	8,831,345
負債純資産合計	38,828,543	39,584,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	22,756,110	28,149,583
売上原価	14,396,870	18,000,920
売上総利益	8,359,239	10,148,662
販売費及び一般管理費	8,348,129	9,559,688
営業利益	11,110	588,974
営業外収益		
受取利息	1,944	3,764
受取配当金	22,597	38,405
投資有価証券売却益	-	70
賃貸料収入	124,722	116,008
その他	75,561	56,607
営業外収益合計	224,826	214,856
営業外費用		
支払利息	130,648	128,081
借入手数料	1,000	1,000
賃貸費用	77,105	61,217
持分法による投資損失	43,761	48,387
その他	25,318	14,296
営業外費用合計	277,833	252,983
経常利益又は経常損失(△)	△41,896	550,847
特別利益		
固定資産売却益	-	689,720
投資有価証券売却益	9,897	173,724
助成金収入	95,267	3,110
受取補償金	131,019	-
保険解約益	57,428	-
その他	1,095	2,170
特別利益合計	294,708	868,725
特別損失		
固定資産除却損	46,152	8,540
減損損失	6,588	7,117
投資有価証券評価損	-	999
新型コロナウイルス感染症による損失	518,913	-
その他	4,732	1,500
特別損失合計	576,386	18,158
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△323,575	1,401,414
法人税等	194,638	359,364
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△518,214	1,042,049
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,500	△14,632
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△502,713	1,056,682

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△518,214	1,042,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,425	△59,403
為替換算調整勘定	14,211	9,227
退職給付に係る調整額	262	366
持分法適用会社に対する持分相当額	6,642	365
その他の包括利益合計	19,689	△49,442
四半期包括利益	△498,524	992,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△489,166	1,005,235
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,358	△12,627

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった(株)老番亭本部は、同じく当社の連結子会社である(株)雪村を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、存続会社である(株)雪村は、合併後に(株)ゆきむら老番亭に商号変更しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月27日開催の当社株主総会において、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の欠損額の補填に充当することを内容とする剰余金の処分を行うことを決議し、同日付で処分を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が4,189,413千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される 財	14,503,174	972,336	4,559,467	—	158,396	20,193,375	1,905,449	22,098,824	—	22,098,824
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	—	138,711	138,711	—	138,711	—	138,711
顧客との契約から生 じる収益	14,503,174	972,336	4,559,467	—	297,108	20,332,087	1,905,449	22,237,536	—	22,237,536
その他の収益	—	—	—	518,574	—	518,574	—	518,574	—	518,574
外部顧客に対する 売上高	14,503,174	972,336	4,559,467	518,574	297,108	20,850,661	1,905,449	22,756,110	—	22,756,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,152	27,415	—	22,474	63,042	468,174	531,216	△531,216	—
計	14,503,174	985,489	4,586,882	518,574	319,583	20,913,703	2,373,623	23,287,327	△531,216	22,756,110
セグメント利益又は 損失(△)	△51,790	△206,112	467,874	225,386	△35,658	399,700	△10,911	388,788	△377,677	11,110

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△377,677千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される 財	17,404,514	2,495,162	5,504,082	-	176,115	25,579,874	1,911,296	27,491,171	-	27,491,171
一定の期間にわたり 移転される財	-	-	-	-	141,161	141,161	-	141,161	-	141,161
顧客との契約から生 じる収益	17,404,514	2,495,162	5,504,082	-	317,277	25,721,036	1,911,296	27,632,333	-	27,632,333
その他の収益	-	-	-	517,250	-	517,250	-	517,250	-	517,250
外部顧客に対する 売上高	17,404,514	2,495,162	5,504,082	517,250	317,277	26,238,287	1,911,296	28,149,583	-	28,149,583
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	44,092	24,366	-	24,990	93,449	601,583	695,032	△695,032	-
計	17,404,514	2,539,254	5,528,449	517,250	342,267	26,331,736	2,512,880	28,844,616	△695,032	28,149,583
セグメント利益又は 損失(△)	522,094	△373,616	443,532	221,846	△27,505	786,351	△59,454	726,896	△137,921	588,974

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△137,921千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。